

新たな産業創造のきっかけを生み出した企業の支援



▲植樹作業を行う企業ボランティアのみなさん。
漁業や農業への支援活動も町内各地で繰り返された。



▲イベントの後方支援を行うボランティアのみなさん。
息の長い交流が今も続く。写真提供 南三陸町観光協会

震災後多くの企業から、水・食料・生活物資の支援に始まり、イベントの後方支援、森づくりや水産業の復興支援、観光交流拠点支援、住民のための福祉支援など、多岐にわたり大きな力をいただいた。

2011（平成23）年4月28日から6月30日までの63日間、除雪車を利用して、避難所の風呂にお湯を提供する企業支援が続けられた。このお風呂は延べ2,237名に利用され、住民たちは、ひとときの安らぎを得ることができた。

海水を真水に変える機械を提供してくれた企業もあり、水道の復旧に苦慮していた南三陸町に、いち早く命の水の支援をいただいた。

林道整備や植樹などの森づくりにも継続的な支援をいただき、間伐材などで木のグッズ作りを行う取り組みは、環境保全や新たな産業の醸成にもつながっている。

イベントを継続支援してくれた企業とは、復興連携協定を締結し、南三陸町観光協会のマーケティング業務の支援や、ICT（情報通信技術）を通じたまちづくりに寄与いただいている。

また、震災直後、社員が南三陸町にボランティアとして訪れたことがきっかけで、交流が始まった企業もある。「大切なのは、“支援する”ことではなく、交流を生み人の輪を広げていくこと」という気づきから、「人同士、地域間、人と未来との橋渡しをする」というコンセプトのレストランが東京に誕生し、そこでは、南三陸町産の食材が使われている。

企業が提供してくれた観光交流拠点となる建物では、多彩な交流が繰り返され、町と住民の活力を創り出した。

企業人たちの専門知識と住民たちを元気づけようという熱い思いは、南三陸町に新たな産業創造のきっかけをもたらした。彼らとの交流を通して、未来を見据えた持続可能な産業へのビジョンが次々と生まれた。



◀南三陸町の食材を使用したメニューを提供する東京のレストラン



◀南三陸町観光協会の拠点となった南三陸ポータルセンターは、企業支援のもと建設された。ここでは多彩な催しや交流イベントが行われた。
写真提供 南三陸町観光協会